

道の駅「あいお」移転整備事業基本設計業務
に係るプロポーザルの実施結果について

令和5年8月7日

山口市農林水産部農山村づくり推進課

道の駅「あいお」移転整備にあたり、基本設計業務に最も適した事業所等を選定するため、公募型プロポーザルを実施し、次のとおり受託候補者を特定した。

1 業務名
道の駅「あいお」移転整備事業基本設計業務

2 受託候補者として特定した者
三分一博志建築設計事務所

3 特定日
令和5年8月7日

4 受託候補者の選考

(1) 選考手順

参加意向申出書の提出があった33者を対象に、道の駅「あいお」移転整備事業基本設計業務に係るプロポーザル評価委員会（以下「評価委員会」という。）において、第1次選考（書類審査）を行い、各評価委員の判定に基づく採点の合計点が上位の者から5者を選定した。

また、第1次選考（書類審査）を通過した5者を対象に、評価委員会において、第2次選考（ヒアリング審査）を開催し、各提案者からの提案書に基づくプレゼンテーション及び質疑応答を行った後、評価委員の合議により、各評価委員の判定に基づく採点の合計点が最も高い「三分一博志建築設計事務所」を最優秀者に、合計点が次点の「光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所株式会社」を次点者に選定した。

その後、評価委員会の評価結果について、庁内で組織する道の駅「あいお」移転整備事業基本設計業務に係るプロポーザル審査委員会の審査を経て、評価が適正に行われたことを確認した上で、評価委員会が最優秀者として選定した「三分一博志建築設計事務所」を受託候補者として特定した。

(2) 評価委員会委員

	所属・役職	氏名
委員長	山口大学大学院創成科学研究科教授	鵜 心治
委員	山口県央商工会理事	牧 徹
委員	山口市農林水産部次長	塚本 宏治
委員	山口市総合政策部企画経営課長	宮原 尚規
委員	山口市農林水産部農山村づくり推進課長	竹内 僚
委員	山口市都市整備部建築課長	山本 聖史
委員	山口市秋穂総合支所地域振興課長	横沼 浩

(3) 選考経過

①参加申込

募集期間	令和5年5月31日～6月30日
参加申込者	33者

②第1次選考（書類審査）

実施日	令和5年7月7日
審査対象者 (参加資格を有する者)	33者

③第2次選考（ヒアリング審査）

実施日	令和5年8月7日
審査対象者	5者

(4) 第1次選考（書類審査）結果

順位	受付No.	合計得点 (455点満点)	選考結果
1	15	346.40	選定
2	25	334.10	選定
3	26	323.40	選定
4	19	318.00	選定
5	14	315.50	選定
6	21	310.70	
7	6	310.60	
8	7	302.50	
9	24	302.30	
10	28	300.60	
11	10	299.20	
12	5	295.40	
13	22	293.00	
14	31	291.30	
15	13	290.60	
16	33	289.80	
17	32	285.60	
18	30	284.40	
19	16	281.40	
20	8	280.40	
21	27	279.00	
22	12	277.50	
23	1	276.40	
24	2	264.60	
25	23	262.20	
26	18	259.70	
27	29	259.50	
28	11	259.30	
29	20	237.40	
30	3	237.20	
31	17	217.00	
32	9	203.75	
33	4	195.60	

(5) 第2次選考（ヒアリング審査）結果

順位	提案者名	合計得点 (700点満点)	選考 結果
1	三分一博志建築設計事務所	559.4	最優秀者
2	光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所株式会社	521.4	次点者
3		521.1	
4		497.0	
5		472.5	

(6) 審査講評

このたびのプロポーザルでは、全国から33者もの参加申込みがあり、第1次選考（書類審査）を実施し、5者を選定した。また、第1次選考（書類審査）を通過した5者を対象に第2次選考（ヒアリング審査）を実施し、各評価委員の判定に基づく採点の合計点が最も高い「三分一博志建築設計事務所」を最優秀者に、合計点が次点の「光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所株式会社」を次点者に選定した。

第2次選考（ヒアリング審査）では、本業務の実施方針や、本施設整備に対する考え方、設計担当者の経験と能力等について評価を行った。

その中で、最優秀者となった「三分一博志建築設計事務所」は、既存の景観や建設予定地の状況を活かし、それらを建物と調和させてシンボル性を出している点や、四季の移ろいと建築との関係等、想像を巡らせることの出来る提案であった点が高く評価された。また、代表作品である直島ホールの整備という実績から、瀬戸内を熟知され、瀬戸内という魅力を磨き上げていくことで広域的な魅力創出につながっていくという点が評価された。

次点者となった「光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所株式会社」は、防災機能としてのオープンキッチンの設置、休憩機能としての駐車場における近隣住民の生活への配慮、情報発信拠点としての機能における移住定住促進への対応等、地域の状況や課題について理解されている点が評価された。